FSCだより

北里大学獣医学部
Kitasato University School of Veterinary Medicine
FIELD SCIENCE CENTER

Vol.80
2022.9.27

FSCの設立趣旨　土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする.

八雲牧場－増頭計画の進捗状況－

５か年計画の最終年度を迎えて

八雲牧場では2017年からそれまでの60頭出荷から125頭出荷を目指し、有機北里八雲牛を増頭しており、今年度が計画最終年度となっています。頭数はほぼ揃い、増頭分の牛舎も確保することが出来ました。日々増体改善と今年度は飼料の収穫方法なども最適な条件を見極めながら飼養管理を行っています。自給飼料のみでの飼養管理は天候等の影響を大きく受けるため困難なことも多いですが、生産された北里八雲牛のおいしさや取り組みを全国に広めるためにも職員一丸となって取り組んでいます。八雲牧場では増頭計画による経営の健全化を図る一方で、試験研究・実習の受け入れも随時行っていますのでご相談ください。

（写真）町営育成牧場における放牧

八雲牧場学生実習

22年度、コロナ禍での実習が終了

7月6日の生物環境科学科の実習を皮切りに今年度の実習が開始されました。生物環境科学科、医学部は新型コロナ拡大防止のため中止しており3年ぶりの実習再開となりました。まだ全ての学科で短縮版での実施でしたが八雲での実習で何か得てくれたことを願っています。このたびの実習で新型コロナ感染、怪我などなく無事に終了しましたことを報告します。

22年度学生実習参加学生人数		
7/6~8	生物環境科学科	42名
7/27~30	動物資源科学科A班	36名
8/1~4	動物資源科学科B班	34名
8/8~11	動物資源科学科C班	37名
8/22~24	医学部1班	21名
8/24~26	医学部2班	17名

今号のどうぶつ紹介

黒毛和種　まさと（♀）

黒毛和種　おさと（♀）

８月と９月に十和田農場で生まれた黒毛和種の子牛２頭を紹介します。どちらも雌雄判別精液という、雄か雌を選んで人工授精できる凍結精液を購入して生まれた雌牛です。なぜわざわざそんなことをしたかというと、十和田農場ではここ数年、何の因果か雄しか生まれてこず、繁殖雌牛の後継牛を確保できずにいたためです。この子たちは将来の十和田農場を担う期待の星なのです☆彡今後の成長が楽しみですね！

ハチクマ川、オバラ川の氾濫

八雲牧場の大雨被害の全貌

（写真）氾濫するオバラ川

（写真）水没した牛舎周り

8/16未明より道南一帯に大雨洪水警報が発令されました。

朝4:00には八雲町内のほぼ全域に避難指示が出るような稀に見る大雨で山に位置する八雲牧場においても場内を流れるハチクマ川、ハチクマ川の支流となるオバラ川も氾濫し放牧地が川となるような状態でした。しかしそんな中でも草を食む北里八雲牛のたくましさに元気付けられます。

ホームページを リニューアルしました

この度、ＦＳＣのホームページと十和田農場のホームページが新しくなりました。

内容はほぼ変わりませんが、スマートフォンやタブレットからも見やすくなったので、良かったらのぞいてみてください！

引き続き、八雲牧場のツイッターや十和田農場のインスタグラムもよろしくお願いいたします！

新しいホームページ：http://kitasato-fsc.com/

FSCホームページ

八雲牧場twitter

十和田農場 instgram

次号の予定と編集後記

10月　紅葉祭

今号は久しぶりに八雲牧場からの話題をお届けしました。十和田もひどい雨でしたが、八雲は相当な被害に見舞われたようですね…牛も含めて八雲の皆さんがご無事で何よりです。この夏は雨が続き、なんだかパッとしませんでしたよね。しかし各地でお祭りが開催されたり、イベントが催されたり、夏を満喫された方も多いのではないでしょうか。来年には日常が戻ってくることを期待しましょう。

ＦＳＣだよりは今号をもちまして、しばらくお休みさせていただきます。再びＦＳＣの様子をご紹介できる日までお待ちいただけると幸いです。

（編集：岩城）